

ひびき

発行・編集責任者／取手市議会議長 入江 洋一
 発行／取手市議会 編集／取手市議会事務局
 〒302-8585 茨城県取手市寺田5139
 電話番号 0297-74-2141(内線1801・1802)
 ファクス 0297-74-1990
 ホームページアドレス <http://www.city.toride.ibaraki.jp/>
 e-mailアドレス gikai@city.toride.ibaraki.jp



取手市議会だより第228号
 2019(平成31)年4月15日発行

<紙面から>

平成31年第1回定例会が2月28日から3月18日まで開催されました。条例の制定や一部改正、補正予算、人権擁護委員の諮問、農業委員同意案の計41件の市長提出議案の他、請願5件が審議されました。市内高校生と初めて行った協働事業については、1・10ページで特集しています。

- 注目**
- 市議会が市内高校生と初協働! …… P 1・10
 - 新年度予算案可決 …… P 1~3
 - 5/11 市民との意見交換会案内 …… P10



高校生と初の協働事業 対話の大切さ学ぶ

3月25日、取手ウェルネスプラザにて、高校生、市議会議員、市職員が、対話による気づき等をテーマにワークショップを行いました。市内5校から1・2年生計21人の生徒、市議会議員20人のほか市職員合わせて60人ほどが参加。「対話で気づこう! 聴いてますか? 話せてますか?」と題し、対話するときのお互いの気持ちの違いや意味についてグループごとに意見交換した後、この日学んだことを学校ごとに壁新聞にまとめました。

◆対話から気づき 協働で壁新聞まとめる

参加者は一班5〜6人ごとに分かれ、人による感情の違いについて対話を深めていく感情表現ゲーム「KINNO」を行いました。これは、ある相談を人に打ち明けるときの表情を5枚の顔の絵の中から選択し、班の1人がそれを予想していくゲーム。そのときの気持ちについてお互いに説明し合うことで、人による感情の違いを再認識し、人への相談やそれを受け取ることの大切さに気づいていくものです。

市議会議員の「昔こんなことがあったよ」、という話題の投げ掛けに、話を聞いた生徒たちは、共感したり世代の違いに驚いたりしながら、お互いの話を聞き合いました。壁新聞を作り上げるときには各学校ごとに分かれ、生徒たちが積極的に進めながら、市議らも協働で作業をし、最後の発表を行いました。

生徒からは「とても楽しめた企画。相談の大切さを知ることができ、また、市議のイメージが身近になりました」。入江議長は「インターネット社会だからこそ、相手の表情を見て話す大切さを感じ、少しでも皆さんの役に立てば」と講評しました。(関連記事は10ページに)

平成31年度一般会計予算を審査・可決 予算審査特別委員会を設置し、10人の委員で慎重審査



今定例会では、平成31年度一般会計予算審査のため予算審査特別委員会を設置され、3月12日〜14日の3日間、審査が行われました。新年度予算は重点施策「①まちの活性化、②人口減少・少子高齢化への対応、③安全安心な学校教育、④協働と持続可能な自治体運営、⑤いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会2019、市制施行50周年」の5点を柱とした事業の展開に向け、予算が編成されました。

予算審査特別委員会では、この一般会計予算等が「選ばれるまち」の実現に向けて、効率的・効果的な予算編成がなされているか等、10人の委員がそれぞれの視点から質疑を行うなど、熱心な審査が行われました。(審査の状況等は次ページに掲載しています)



ゲームの班の中で、この相談をしたいときはこの表情で、というカードを出し合い、監督役の1人がそれを予想。その違いや意味について話し合うと、「なるほど」や、「そうなんだ」という人との違いについて気づきながら対話を進めていきました。壁新聞は時間を惜しみながらも約50分ほどで作成。各校に掲示されます。